

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	参 事	課 長	係 長

事業名	健幸都市推進事業				担当課	健幸都市づくり課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	健幸都市推進係
施策項目	1	健康づくり			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	歩くことを基軸とした健康づくり			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。		
事業概要【PLAN】	「歩くこと」を基軸とした健幸なまちづくりの推進のため、世代を問わず参加できるウォーキングイベントの開催、だてな健幸ポイントの普及、広報・啓発活動を行います。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができている。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組みを推進していく。モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	45	45			
	一般財源	千円		6,009	6,631	10,765			
	事業費合計	千円		6,009	6,676	10,810			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1日に30分以上歩く人の割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	44.0	46.0	48.0	50.0	52.0
			実績値	34.5				
			達成率	78.4%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	少子高齢化が進む中で、市民一人ひとりが健康寿命を延ばし、健やかで幸せに暮らすことができるまちづくりが求められていることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	本事業の中で実施している市民向け健康づくりイベントや働き盛り世代の健康づくり事業において、都度アンケート調査を実施することとした。その結果により事業の有効性が一定程度達成できていると確認している。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	必要な事務を項目化しスケジュール化している。また、アンケート調査はフンペーパーを基本としている。さらに、Logoフォームを活用するなど事業の効率化に努めている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年4月から伊達市第2次健幸都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健康無関心層、特に働き盛り世代に対する意識づけが大きな課題となるが、事業所に直接出向いて話をすることで経営層も同じく課題として捉えていることが分かった。今後も草の根活動的に事業を進め、課題解決に努める。

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	参 事	課 長	係 長

事業名	健幸都市推進事業（再掲）					担当課	健幸都市づくり課	
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち					担当係	健幸都市推進係
施策項目	1	健康づくり					計画期間	令和5年度　～　令和7年度
主な取組	2	世代ごとに運動に親しむ習慣づくり					事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費			

目的と方針 【PLAN】	市民一人ひとりが健康で生きがいをもち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	各所属で把握している子どもの心身の健康状況や課題を共有し、連携して健康教育の内容等を検討します。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができる。
--------------	----	--------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。 あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組みを推進していく。 モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	45	45			
	一般財源	千円	6,009	6,631	10,765			
	事業費合計	千円	6,009	6,676	10,810			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
共有会議の開催回数	回	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	1	1	2	2	3
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	乳幼児期における食習慣・歯科保健等に関して関連する課が情報共有し連携していくことは、健康教育の充実を図るためには重要であり、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	子どもの心身の健康課題を共有し中・長期的な視点を持って健康教育を推進することは、子どもたちが安心安全で豊かな生活を送るうえで有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	関連する課（こども未来課、ネウボラ推進課、健康推進課、健幸都市づくり課等）がそれぞれ持ち合わせた情報を共有することで、事業重複の防止や効率化につながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年4月から伊達市第2次健康都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健康無関心層、特に働き盛り世代に対する意識づけが大きな課題となるが、事業所に直接出向いて話をするなどで経営層も同じく課題として捉えていることが分かった。今後も草の根活動的に事業を進め、課題解決に努める。
------------	----	-------------------------	---

整理番号
44

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	参 事	課 長	係 長

事業名	働き盛り世代の予防重視型健康づくり事業				担当課	健幸都市づくり課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	元気づくり係
施策項目	1	健康づくり			計画期間	令和5年度 ～ 令和5年度
主な取組	2	世代ごとに運動に親しむ習慣づくり			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業	
	1	4	1	1	健康づくり推進事業	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。		
事業概要【PLAN】	・健康への関心が比較的低い働き盛り世代の健康づくりを支援するため、参加しやすい夜間や土曜日開催の充実します。 ・事業所への出張版運動教室の開催や健康器具の貸し出しを行い実施従業員の健康管理に関する事業所への広報・啓発活動の強化を進めます。		
対象【PLAN】	働き盛り世代（65歳未満の市民）	意図【PLAN】	運動習慣化への行動変容 健幸クラブFineへの働き盛り世代の参加者が増える
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	働き盛り世代が参加しやすい環境整備や仕組みづくりを構築する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		1,166	1,603	0			
	一般財源	千円		14,871	14,578	0			
	事業費合計	千円		16,065	16,181	0			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健幸クラブFineの65歳未満の登録者のうち1回以上参加したことがある者の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	67.8				
			実績値	49.0				
			達成率	72.3%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市内にも総合型地域スポーツクラブのスタートや民間スポーツジムの開設など、運動に親しむ環境も変わりつつあり、事業の優先順位として見直しが求められていた。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	令和3年度より教室の曜日や夜間帯の開催など環境整備に取り組んできたが、登録者数の増加に見合うほど参加実績は伸びず、成果の目標指数は不十分であり事業効果が得られなかった。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事業の参加実績に応じた開催日数の削減などの調整を行ってきた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	廃止	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年度より健幸クラブFineは、介護予防や生活習慣病予防を重点とした教室として継続していくため、対象年齢の引き上げや教室内容の見直しを行い働き盛り世代を対象としての教室は廃止とする。

整理番号
45

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	参 事	課 長	係 長

事業名	健康運動習慣化支援事業				担当課	健幸都市づくり課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	元気づくり係
施策項目	1	健康づくり			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	2	世代ごとに運動に親しむ習慣づくり			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	1	健康づくり推進事業	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	・健幸クラブFine：通所型の運動教室で健康運動指導士による参加者に合わせた負荷設定により、効率よく筋力トレーニングを行います。 ・元気づくり会：元気な市民と地域づくりを目指して各集会所等で運動普及を実施し、住民が主体的に継続することをサポートし、全市展開を進めます。 ・いきいきウォーキング：健康運動指導士による効果的なウォーキング方法を伝達し、ウォーキングの楽しさを普及します。					
------------	---	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	健康運動教室：40歳以上の市民 いきいきウォーキング・元気づくり会：全市民	意図【PLAN】	健康増進・生活習慣病の予防と改善、介護予防を図り健康寿命が延びる。			
----------	--	----------	-----------------------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	①健康づくりのために運動をする人が増える ②身近なところで取り組める集会所が増える					
----------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		18,155	16,582	15,001			
	一般財源	千円		8,834	6,350	14,064			
	事業費合計	千円		26,989	22,932	29,065			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健幸クラブFineの65歳以上の参加者のうち週1回以上参加したことがある者の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	45.7	52.1	57.5	62.0	65.0
			実績値	52.9				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	健幸クラブFineについては、民間の介護施設や運動事業など外部事業の実態を把握したうえで、介護予防事業として行政が実施すべき事業内容を関係各課、各団体と検討していく。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	数値目標には達しなかったが、生きがいづくりや通いの場として、高齢者や低体力者、基礎疾患を持つ市民の介護予防や運動するきっかけづくりに繋がる事業として運動機会の充実に貢献した。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事業の参加実績に応じた開催日数の調整を行ってきた。また、事業の評価、分析のため、参加者の介護、医療情報を基にした分析に取り組みを開始した。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	運営スタッフとの協議を定期的に行うことで参加者の声を反映させた教室づくりを行ってきた。令和6年度より健幸クラブFineは、介護予防や生活習慣病予防を重点とした教室として継続していくため、対象年齢の引き上げや教室内容の見直しを行う。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
46

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	参 事	課 長	係 長

事業名	健幸都市推進事業（再掲）				担当課	健幸都市づくり課
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			担当係	健幸都市推進係
施策項目	1	健康づくり			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	3	「健幸意識」の醸成・啓発			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	9	健幸都市推進事業費	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができるよう、市民と理念を共有し、一体となって「健幸都市 伊達市」の実現に向けた取組を進めます。		
事業概要【PLAN】	健康講座や講演会、様々な媒体での情報発信等により、学校や職場、地域等、生活の中で「健幸」について考える機会を増やし、「健幸意識」の醸成を図ります。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができている。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民、地域コミュニティなどと協働し施策に取組み、連携を図りながら「健幸づくり」を推進していく。あらゆる施策・事業において、健幸都市推進の視点のもと総合政策として全庁的な取組みを推進していく。モデル地区からの成果を活かした全市展開を協働して進めていく。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	45	45			
	一般財源	千円	6,009	6,631	10,765			
	事業費合計	千円	6,009	6,676	10,810			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
情報発信の回数（講座、講演会）	回	実績値が目標値以上となること	目標値	44	51	58	64	70
			実績値	82				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	生活習慣病や介護の予防にかかる取組は、少子高齢化が進む中で重要であり、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	市民一人ひとりが健康になることは、本人のみのならず家族や傍にいる多くの人の幸せにつながるだけでなく、地域の活力にもなるため、講座等により「健幸意識」の醸成を図ることは有効だと考えている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ホームページ等で広く周知するとともに、チラシや申込書類はワンペーパーにし、市民にわかりやすくするとともに効率的に事務運用できるようにしている。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和５年４月から伊達市第２次健幸都市基本計画の運用を開始し、“歩くこと”基軸としたまちづくりを推進している。 健康無関心層、特に働き盛り世代に対する意識づけが大きな課題となるが、事業所に直接出向いて話をする中で経営層も同じく課題として捉えていることが分かった。今後も草の根活動的に事業を進め、課題解決に努める。